

科目名	現代の社会	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	教養科目2群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	私たちが生きている現代社会は、どのように形成され、どんな到達点にあり、どんな課題を抱えているのだろうか。授業では、このことを現代日本における労働・貧困・福祉国家・新自由主義・生活等と若者の関連という切り口で考える。知っているようで知らない現代社会の仕組みがわかる科目である。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代から現代への社会の転換について、基礎的な知識を持つ。 ・「労働と生活」に現れた日本社会の特徴について理解できる。 ・大学教育を受ける者としての常識的教養である現代社会のキーワードについて、基本的理解と説明ができる。 ・数値データの表を読み取り、その背後にある社会事象を推測し、それを論理的な文章に表現できる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 授業の進め方とイントロダクションー現代社会の特徴を捉える (2) 労働ー雇用の多様化と劣化 (3) 貧困ー雇用と社会保障の劣化による格差の固定化 (4) 生活ー「豊かさ」の広がり一方で諸「難民」の発生 (5) 家族ー「標準的家族」から「多様な家族」へ (6) 男性の労働・女性の労働ー「平等」感の浸透と「実態」のギャップ (7) 「大人になる基準」の変化と「現代社会で大人になるとは」 (8) 前半のまとめ (9) 資本主義ー現代社会の基本的構造として (10) 福祉国家ー資本主義のもとでの福祉・生活重視の政治の行方 (11) 新自由主義ー市場原理主義と規制緩和の行方 (12) 後半のまとめ (13) グローバリゼーションー多国籍企業と国内経済の利害不一致が拡大する (14) メディアの読み方・メディアとの付き合い方 (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	授業までに、テキストの該当章を読んでおき、出てきた意味の分からない用語は、辞書等で調べておくこと。
	事後学習	毎回、新聞の「労働」「社会保障」に関連する記事に目を通しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 中西新太郎・蓑輪明子編『キーワードで読む現代日本社会』旬報社, 2012年 (1365円)。ISBN 9784845112609	
成績評価方法と基準	<p><方法> 定期筆記試験75%、①新聞記事提出課題10%、②読書レポート課題15%。 <基準> 科目の目標到達を重視する。到達していない者は不合格となる。</p>	
備考	<p>次の2課題の遂行を求める。 ①雇用・社会保障関連の新聞記事を切り抜き、毎回コメントをつけて提出する。 ②定期筆記試験日までに読書レポートを提出していること（作成要領等は授業で指示する）。</p>	